

①高校生からのおすすめ本



<家族>～切ないけれど温かい～

番号	書名	著者名	出版社名	キーワード	学校名	学年	紹介メッセージ
11	重カピエロ	伊坂 幸太郎	新潮社	家族愛	倉敷天城	1	最後の最後まで、家族・兄弟のことを信じ、ありのままの姿を受け入れる家族愛が読んでいても感動します。連続放火事件に起きたある事件とその現場に残される暗号。過去に起きたある事件と弟の生まれたいきさつ。その全てが関連して圧倒的な真実が暴かれます。意外な分野から爽快に解かれていく暗号と美しい家族愛が描かれているので、謎解きが好きな人や感動したい人にオススメです。ぜひ、読んでみてください。
12	ラン	森 絵都	講談社	家族	倉敷天城	1	もし明日、二度と家族に会えなくなったら。お母さんの手料理の味も、まだ教わっていないのに。主人公の環がいろいろな人によってだんだんと自分の世界を広げていきます。ラストは、何回読んでも温かい気持ちになります。感動すること間違いなし！
13	流星ワゴン	重松 清	講談社	家族愛	岡山東商業	3	主人公の波乱万丈な人生と、一度死んでしまった親子の絆を取り戻す為に、過去へタイムスリップする物語。ファンタジーな話の中には、とても現実的で共感する場面がたくさんあって、考えさせられます。家族の愛や、人の温かみを感じることのできる、感動作。
14	夜行観覧車	湊 かなえ	双葉社	家族	倉敷天城	1	ある高級住宅地に住むエリート一家でおきた殺人事件の真相が、向かいに住む家族の視点から明らかになっていくという物語です。どちらの家族も問題を抱えていたのですが、この事件がきっかけで、前より仲良くなったり、お互いのことを理解し合えるようになっていきます。殺人事件の真相だけでなく、人間関係まで描かれているところがこの本の好きな所です。湊かなえさんならではの世界観を楽しめる1冊だと思います。
15	思い出のマーニー	ジョージ・G・ロビンソン/著	岩波書店	家族愛	玉野光南	3	この本はジブリの最新であり、ジブリ好きの方におすすめの本です。主人公のアンナは、私と歳が近いため、アンナの心の迷いや考え方にすごく共感するところがあり、アンナの気持ちになって読むことができました。また、アンナの体験から家族の大切さに気付くことができました。もし、自分に自信がなく、心身ともに不安定な人や家族とうまくいかない人はぜひ読んでみてください。きっと自信が付き、充実した毎日が送れると思います。
16	とんび	重松 清	KADOKAWA	家族愛	岡山東商業	3	ある一つの家族と、その家族を見守る周りの人の物語です。支えたり、支えられたりの関係で、周りの人を想う気持ちに触れることができ、とても心が温まります。
17	我が家の問題	奥田 英明	集英社	家族	岡山東商業	3	この本は短編集になっていて読みやすく、現代ならではの家族内の問題が詰まっていて、読んでいて面白い本です。どの話も最後の結末が書かれておらず、読んでいる本人に想像させるので、読んでいるにも関わらず本の中に引き込まれます。また主人公の悲しい運命にさらされているのに、頑張っている姿をみて、将来への希望を感じることができます。また家族の大切さも改めて感じるすることができます。
18	フリーター、家を買う。	有川 浩	幻冬舎	家族	玉野光南	3	うつ病にかかった母親のために家を買うことに奮闘するフリーターの青年の話。アルバイトを転々としていた主人公だったが、うつ病に理解のない父親を説得するためにも成長していく。重めの話に受け取られがちだが、読んでみると意外と読みやすい。
19	おおかみこどもの雨と雪	細田 守	KADOKAWA	親子愛	岡山東商業	3	普通の子どもでも狼の子どもでも、親子の愛は変わらない。狼として生きるか人間として生きるか。不思議な運命を背負った二人の子どもと、そんな二人を優しく育てる母親。離れたところから家族のことを見守る父親。両親の愛に包まれて育った二人のおおかみこどもが最後に選ぶ自分の生きる道とは？必読です。